

# 地域の課題をとらえて

## 2氏が一般質問



西澤 裕之

### 幌延町エネルギー 施設等振興基金に ついて

**質問** この基金を、産業の創造と雇用の創出が図られるような事業に、中・長期的に活用していく考えがあるのか。

**町長** 基金の目的は再生可能エネルギーの取り組みや地域振興につながる事業の財源として活用していくことになっており、大型事業にも積極的に活用したいと思っている。ただ、事業可能性調査などを検討しつつ進めていかなければならないと考えている。

**質問** 基金を計画的に積み立てていく必要があると考えるが、町長の考えは。

**町長** 大型事業に基金を充当していくとすぐ枯渇してしまい、当然、工夫をしながら活用していかなければならない。将来にわたってエネルギー関連施設をどのように展開していくかについては、具体的施策の検討

や経費の試算を行ったうえで、今後の運用方法を検討していきたい。

**質問** 幌延地圏環境研究所が行っている研究は、本町にとって重要かつ将来に期待の持てる研究だと理解している。町長は、幌延地圏



幌延地圏環境研究所

環境研究所をどう位置付けているのか。また、その存在をどのように考えているのか。

**町長** 幌延地圏環境研究所は、本町が地域振興策の一環として誘致した研究所である。設立以来、幌延フィールドを活用して様々な研究を進め、その研究成果は、

地域の特産品開発やローカルエネルギー

ギー地産地消モデルにつながる可能性があると考えている。

国の補助金が減額されるなか、研究所の予算確保について、今後も関係省庁へ要請活動を続けていかなければと思っている。

研究所が地域経済に大きな役割を果たしていること、



今後の研究成果が、特産品開発や地域雇用拡大につながる可能性もあることを勘案すれば、幌延町にとって重要な位置付けであり、町として何らかの支援策も検討していかなければと考えている。

### 職員研修事業について

**質問** 新人研修と同時に、平成25年度に行ってきた研修を引き続き行うべきだと考えるが、町長の考えは。